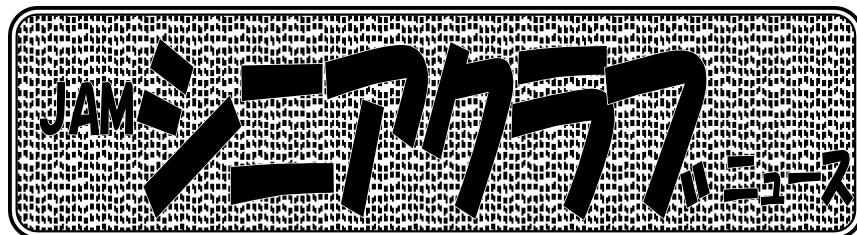


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

第212号

発行日 2025年8月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

祝「郡山りょう」参議院議員誕生

皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

参議院議員 郡山りょう



皆様の力強いご支援のおかげで、私、郡山りょうは当選を勝ち取ることができました。皆様の生活現場の声、団結力、そして一票一票が、94,610票という非常に大きな力となりました。

いよいよこれからが本番です。皆様から頂戴した「現場の声」の実現に向け、すべての働く皆様の代表として全力で取り組んでまいります！ともに、生活を豊かにし、不安のない社会を実現していきましょう！

JAMシニアクラブ会長 大山勝也



7月20日投・開票の第27回参議院選挙において、JAM組織内候補「郡山りょう」は、94,610票を獲得し、当選の栄誉を勝ちとることが出来ました。JAMとして、津田弥太郎氏以来9年ぶりに組織内参議院議員が誕生することになります。

シニアクラブ会員の皆様方には「応援カード」の活動をはじめ、「郡山りょう」の必勝に向けて、多大なご尽力をいただきました。2年間にわたるシニア会員の皆様の献身的な活動に心から感謝を申し上げます。JAMシニアクラブは今後も「郡山りょう」「村田きょうこ」両参議院議員と連携をとりながら、現役と一体となって社会保障や税制改革などの政策制度実現の取組をすすめていきます。

JAM会長 安河内賢弘



このたびの第27回参議院通常選挙におきまして、郡山りょうが当選の栄誉を賜りました。大変厳しい選挙戦でしたが、この議席奪還は、組合員とシニアクラブ会員の皆様による団結力の勝利だと確信しています。

参議院全国比例での議席奪還は実に9年ぶりとなるJAMの悲願でした。同時に村田きょうこ参議院議員から渡された勝利のバトンをつなぐことが出来ました。これから私たちの代表である郡山りょう参議院議員を通じて、私たちの職場や生活現場の声を国会に届けたいかなければなりません。JAM運動をさらに強化し、より良い社会へと変えていきましょう。

第3回幹事会を開催

「郡山りょう参議院議員より決意の挨拶」

JAMシニアクラブは7月24日、友愛会館において第3回幹事会を開催しました。那珂副会長の挨拶に続き、大山会長が次のとおり5つの課題を中心に座長就任の挨拶を行いました。

①郡山りょう当選に向けた皆様のご努力に感謝する。参院選の結果は、若い世代も含めて自民党政治を見限ったというところ。今の自民党政治では国民の生活不安を解消できない。郡山りょうをはじめ4人の組織内国会議員と連携し、政策制度の取組みをすすめていく。一方で、世代間の分断を拡大しないように、社会保障制度の歴史について若い世代に正確に伝えていくことが必要。

②地球温暖化、環境問題が深刻化している。「国連の10の提言」などを参考に、自分達で何が出来るか、JAMシニアクラブで何が出来るかを検討していきたい。

③トランプ関税は、世界的なインフレを引き起こしており、経済のグローバル化という資本主義の基本に逆行している。日本のものづくり産業を守るために、価値を認め合う社会の理念を全世界に波及させていくことが必要。

④世界各国が軍事力強化へ向かっている。核兵器使用の脅威が高まっている。核戦争をさせない運動を強化していく。

⑤政策課題ワーキンググループで今後の検討課題となっている、「財源問題」について、現役や4人の組織内国会議員と連携しながら検討をすすめていきたい。

次にJAMを代表して、中井書記長より、「皆様のご支援のおかげで、JAMは9年ぶりに純粋な組織内参議院議員をもつことが出来た。しかし票数は3年前、6年前と比べて大きく減っている。しっ

かりとした総括をしていきたい。核兵器使用の脅威が高まっている。唯一の被爆国として、核兵器廃絶の国民運動に力をいれていく」との挨拶をいただきました。

3日前に当選を決めたばかりの郡山りょう参議院議員も駆け付け、「この2年間の皆様のご尽力に感謝したい。本番はこれから、厚生労働委員会に所属し、働き方、医療、年金、最低賃金など重要課題について、現場の声、すべての世代の声を受け止めて課題を解決する政策を構築していきたい」との力強い決意表明がありました。

協議事項では、2026年度活動方針案、2026年度予算案、2026・27年度役員、核兵器禁止1000万署名活動、2026年度定期総会対策の順で議論がすすめられました。活動方針案は、参議院選挙の結果を踏まえて、政策実現活動の記載を全面的に書き直した上で、9月3日の定期総会に提案することを確認しました。

退職者連合

第29回定期総会を開催

新会長に野田那智子さん選出
スローガン「紛争を終結し平和な世界を、安心できる暮らしを若者へつなぐ」

7月16日、JAMシニアクラブが加盟する日本退職者連合の第29回定期総会が、東京・連合会館で開催されました。

冒頭人見会長より、「今次参議院選挙は与党を過半数割れに追い込み政権交代につながる重要な選挙。連合推薦候補全員当選のために一層の協力をお願いする。

今年は戦後・被爆80年の年であり、様々な行動で、二度と戦争を繰り返さない平和な日本を求めていく」との挨拶がありました。清水連合事務局長、立憲民主党辻本代表代行、国民民主党川合幹事長代

〈裏面に続く〉

（表面から続く）



行、社会民主党福島党首ら来賓の挨拶のあと、議事に入り2025年度運動方針、予算、政策制度要求、ジェンダー平等参画推進計画が提案され、審議のあと満場一致で全議案が可決されました。

役員改選では、4期8年会長を務められた人見一夫さんが退任され、あらたに事務局長の野田那智子さん（自治退）を新会長、副事務局長の宇田川浩一さん（全印刷退）を事務局長に選出しました。JAMからは大山会長が副会長に、大野事務局長が幹事に再任されました。

退職者連 「戦後80年」の 学習会を開催

日本退職者連合は7月15日、第29回定期総会前日の全国組織代表者会議で、1945年8月2日未明の東京の八王子

市大空襲を体験した石井忠明さん（86歳）を講師にテーマ「戦後80年 今、伝えねば」の学習会を開催しました。

1945年の八王子市旧市街地の人口は6万3千人でしたが、八王子市大空襲の惨状について犠牲者50人以上、負傷者2千500人以上、罹災者7万7千人以上、焼失家屋1万4千戸を超え旧市街地の80%を焼失したと報告があり、B29爆撃機170機が飛来し、大型爆弾M17（集束焼夷弾110発入り）を67万2千発投下、当時の八王子市人口一人に対し10発の焼夷弾が投下されたことによる惨状だったと強調していました（1945年3月10日の東京大空襲では約70万発の焼夷弾を投下）。石井さん自身の体験については次の通り話していました。

伝単（米軍の投下宣伝ビラ）で空襲が予告されていたので、7月下旬に母とすぐ上の兄と三人で八王子の家から神奈川県の実家に避難していたが、おいてきた愛犬が気になり、皆で家に帰ってきたのが8月1日。日付が変わるころ空襲警報が激しく鳴り響いた。

「八王子駅が真っ赤だ。逃げろ」と父が叫び、父を残して一家6人がリヤカーで近くの桑畑に向かった。たどり着く間際に米軍機の機銃掃射にあったが、桑畑に駆け込んで助かった。同じ桑畑では銃撃されて亡くなった母子もいた。帰ると、自宅周辺は焦土と化

し、遺体が安置されている市内のお寺に行くと、トタンの上にむしろを敷いて数十人が寝かされていた。あたりに異臭が漂い、怖くて震えていた。（文責・会長大山勝也）

埼玉 「少子化問題」の 学習会を開催 小泉茂 事務局長



JAM埼玉シニアクラブでは6月16日、那珂会長を講師として政策・制度学習会を開催しました。参加者は14名、テーマは「少子化問題 現状と今後の課題」です。

昨年、JAMシニアクラブではいくつかの政策課題について研究をしましたが、那珂会長がJAMシニアクラブ副会長として少子化問題を担当し、その報告書が3月にまとまったことから当クラブ学習会での講演となりました。

2024年の出生数が70万人を切り、人口が減少に転じている日本では、将来の姿としてモノづくりや各種のサービスが行き届かない現実が迫っています。その要因として日本では雇用不安と賃金の停滞が長年続いたことにより結婚

出産をためらう人が増えてきたこと、また家事・育児の女性負担の偏りから女性が結婚、出産をためらう傾向が強くなったことなどがあげられます。

少子化問題の解決のためには若い世代の将来不安・子育て不安の解消が必要です。その第一として雇用の安定と安心の社会保障で暮らしの基盤確立、第二に賃金の安定的な向上で結婚、子育てできる経済的なゆとり、第三は時短で生活時間にゆとり、最後に家事・育児時間の男女平等促進です。

講演の結論としては「先に述べた解決策は労働組合がこれまで目指してきた目標そのものだが、不安定雇用を拡大し賃金を抑制し、生活時間を奪うという経営側による「働かせ方」改革に阻まれてきました。これからは労働者のための真の「働き方」改革が肝要です。本当に働く人が報われる社会の構築が少子化対策に不可欠であることを実感させられた学習会となりました。

岐阜 「年金制度」の 研修会を開催 井亦廣幸 事務局長

JAM岐阜シニアクラブは、6月14日サンワーク大垣にて、「年金制度について」岐阜県社会保険労務士の西濃支部・田中佐菜江さんを講師に迎え37名の方に参加を頂き研修会を開催しました。

2025年5月16日、私

ちの将来の安心に深く係わる「社会経済の変化を踏まえた年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する等の法律案（年金制度見直し法案）」を第217回通常国会に提出され、5月30日に衆議院で修正（基礎年金底上げ措置を法案の付則に盛り込む）のうえ、参議院に送られ6月13日に成立しました。

主な改正内容は、①社会保険の加入対象者の拡大②在職者老齢年金の見直し③遺族年金の見直し④保険料や年金額の計算に使う賃金の上限の見直し⑤その他見直し等の措置を講ずるとの内容になっています。

年金受給者には、必ず毎年6月中旬に日本年金機構より「年金額改定通知書」が送付されます。年金額を確認しても改定のしくみを知る方は多くは見えないと思います。そこで今回、年金額改定のしくみについて、田中講師より年金額の改定ルールと令和7年度の年金額改定について講話を頂きました。

東京 「JAXA」を見学 平木和裕 幹事

JAM東京シニアクラブは、街歩きとして5月27日、21名が参加して「JAXA（宇宙航空研究開発機構）調布航空宇宙センター」の展示室を見学しました。調布は、JAXAの中で航空技術の研究する

唯一の拠点として、日本の航空産業の成長に貢献し行政ニーズに応える次世代航空技術を研究開発、航空から宇宙まで多様な研究開発を行っているとの説明がありました。

屋外展示には、懐かしいYS11退役機のコックピット内部展示があり興味深く拝見し、「スペース・ミッション・シミュレータ」の部屋に入りわくわくしながら、未来のスペースプレーンで宇宙旅行の模擬操縦体験をすることができました。その他いろいろ職員の方から説明を受けました。

航空センターの見学後、徒歩組とタクシー組の2班に分かれて深大寺（東京都調布市にあるお寺で東京では浅草寺に次ぐ古刹）に向かい、深大寺名物のそば（湧水が豊富で昔からそばの栽培がおこなわれていました）を頂きました。

